



野球部

最後の夏 単独チームで臨んだ選手権沖縄大会

美来工科 積極攻撃コールド

【美来工科】	打	安	点
⑧	露仲	3	0
⑥	木泊	4	2
①	江洲	4	3
⑤	高徳	4	4
①	内川	0	0
②	内川	3	2
③	比呂	0	0
④	比呂	0	0
④	比呂	0	0
⑦	久野	2	2
⑦	久野	1	1
⑨	田平	2	0
⑨	田平	0	0
併	残	併	併
3	2	0	8
0	2	5	1
4	1	1	1

投	手	回	打	安	振
高	江	3	11	2	1
内	間	1	4	1	2
國	吉	1	3	0	0

【那覇工】	打	安	点
⑥	下地	2	1
⑥	新嘉	2	0
⑤	新嘉	2	1
①	小吉	2	1
⑦	小吉	2	0
⑨	大城	2	0
③	大城	2	0
②	山城	2	0
④	山城	2	0
併	残	併	併
0	0	3	3
0	1	8	3

投	手	回	打	安	振
下	地	1	5	6	1
儀	地	2	5	1	1
儀	地	2	3	1	7



美来工科—那覇工業 2回1死一塁、暴投の間に進塁する美来工科の田場希=3日、アトムホームスタジアム宜野湾

美来工科	那覇工	美来工科
4	0	4
3	0	4
0	0	0
0	0	0
4	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
15	0	15

○美来工科 二回に2点本塁打を放った高江洲卓碧「内角の直球を合わせられた。大会前にあまり練習ができなくて不安もあったけど、試合が進むうちに緊張もほぐれていった。競った試合で勝てるように、少ないチャンスで打てるようにしたい」

●那覇工 単独出場を喜ぶ下地一晟主将「春に1年生が入ってきて、少ない人数だけど単独で出場できてよかった。自分たちの代は秋と春を含めて勝てなかったので、後輩にはまず1勝してほしい」

第103回全国高等学校野球選手権沖縄大会第1回戦 令和3年7月3日(土)

※上記の記事:琉球新報より抜粋

3年生にとって最後の夏。

最後まで頑張ってくれた3年生ご苦労様でした。

自動車科 主将 遊撃手 下地 一晟(石田中出身)

機械科 外野手 小林真之介(松城中出身)



第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会準決勝 場内アナウンス担当に決定



令和3年7月17日(土)に行われた第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会準決勝第1試合、知念高校対中部商業高校の試合の場内アナウンス担当に**服飾デザイン科3年徳永佑梨亜さん(小禄中出身)**が県内各学校の野球部マネージャーの中から選出され担当しました。

徳永佑梨亜さんのコメント

野球部に入部して、アナウンスに興味を持ち始めてから、決勝・準決勝のアナウンスは高野連から選んでもらえると知りマネージャーは試合には出られないので「唯一の見せ所だ!」と思い日々アナウンスの練習に励んできました。

アナウンスで選ばれることは、私のマネージャー生活での 1 番の目標でした。実際に選ばれてから、球場に入りグラウンドとマイクを目の前になると最初は緊張しましたが、だんだん落ち着いてきて最後には自分らしいアナウンスができたと思います。那覇工業野球部の名前を背負い少しですが貢献できた事がとても嬉しいです。記念品のボールも頂き、一生の思い出になりました。自分の夢を叶えられて本当に良かったです。